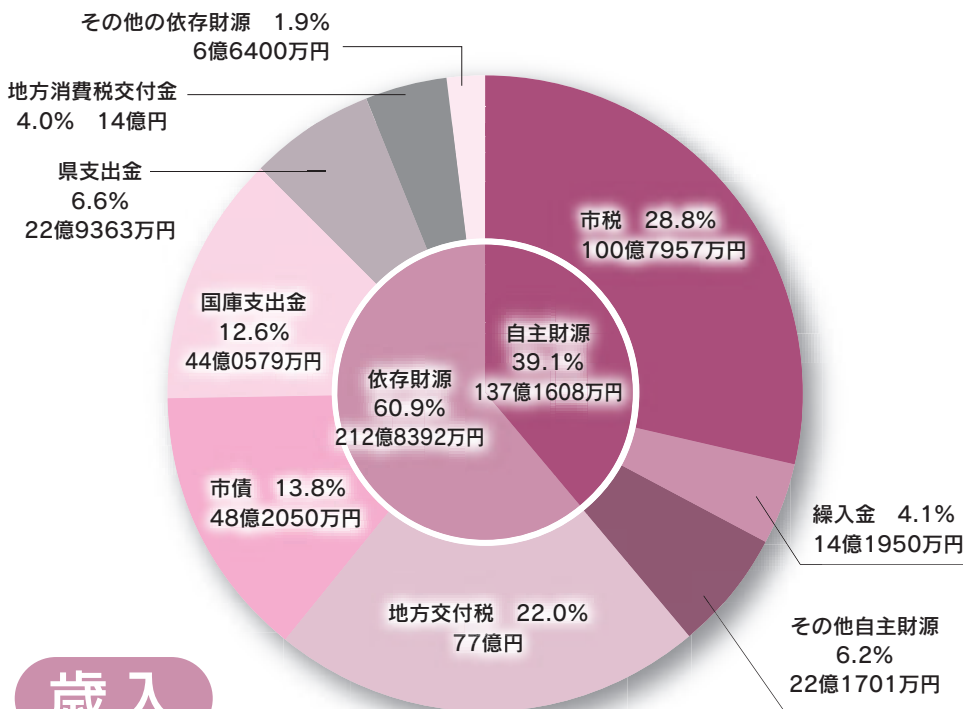


# 億円 過去最高 国造り実行予算

## 予算 審議

平成29年度は、『知恵と愛のある 協働互敬のまち おおたわら』を将来像とした、大田原市総合計画スタートの年であり、50年後、100年後の大田原市にとって特に重要な年であることから、同計画に掲げる基本理念及び基本政策を実現するため各種事業の執行を滞りなく推進する必要があります。

そのため、厳しい財政状況ではありますが、限られた財源の重点的かつ効率的配分に努め、高度化・多様化する市民ニーズに適切に対処することを基本方針に、未来への投資を着実に実行する『おおたわら国造り実行予算』が編成されました。



※1万円未満を端数処理しているため、実際の数値と異なることがあります。

## 歳入

歳入について、自主財源である市税は、法人市民税は景気回復基調であること、また固定資産税は新増築家屋等が増加していることを考慮し、前年度と比較して1億2363万5千円、1.2%増の10億7957万3千円の見込みです。

地方消費税交付金については、本年度の交付実績額を考慮し、同額の14億円を見込みました。

地方交付税については、普通交付税の合併算定替の段階的縮減という減額要因がありますが、新庁舎建設事業の財源として、震災復興特別交付税を見込み、前年度と比較して8億円増の77億円と大幅増となりました。

国庫支出金及び県支出金については、学校施設整備費負担金及び学校施設環境改善交付金の減額や畜産競争力強化対策整備事業費補助金の減額により、前年度と比較して国庫・県支出金併せて、4億7287万9千円減の66億9941万9千円となりました。

市債は、新庁舎建設事業の本格的工事着手、道路整備事業及び道の駅那須与一の郷調整備池改修事業の着手など、大型事業や継続事業の計画的実施に伴い、1億6170万円、3.5%増の48億2050万円となりました。

市債の内訳は、臨時財政対策債が前年度と比較して800万円増の13億8000万円、市債全体の28.6%、合併特例債が前年度と比較して6億9240万円減の17億6950万円、36.7%を占めており、合併特例債と臨時財政対策債の占める割合は市債総額の65.3%となっています。

### 予算審査特別委員会の日程

委員長／大豆生田春美 副委員長／星雅人

- 3月6日 正副委員長の互選、分科会の設置、会議日程
- 13日 第1分科会、第2分科会
- 14日 第3分科会、第4分科会
- 15日 予算審査全体会

